

市議会報告

令和6年第4回定例会
(12月6日～12月23日)

質疑【市議、市長等のボーナス増額の反対】

無理な賃上げによって中小企業が限界を迎えて倒産件数が増えているようです。市内企業の倒産件数をお示ください。



福田



経済局長

民間の信用調査機関によりますと、令和4年は54件、令和5年は84件。令和6年は11月までに87件となっております。販売不振を初めとした様々な要因により増加しているところでございます。

安らかなお正月を迎えられない方もいるであろう、こういった市民の状況をしっかり踏まえたうえで市長、副市長、特別職の職員、そして私たち市議会議員は本議案には向き合わなければならない。大変厳しい思いをされている市民の方々に寄り添い、そしてときには敬老乗車証の制度改正や宿泊税の導入など厳しいお願いもしなければならない立場でありますので、必要以上に期末手当を増やすことは避けるべきと思いますが、市長はどうお考えでしょうか。



福田



市長

特別職の期末手当につきましては、国や県の特別職の支給割合と均衡することを基本としつつ、本市の人事委員会による市内の民間事業所への調査を踏まえた勧告に基づく一般職員の改定措置なども踏まえて改定してきたところでございます。今年度におきましても、こうした基本的な考え方にに基づき、期末手当を改定することについて、ご提案をしたものでございます。

政治家の生き様で市民の皆様を勇気づけることができ逆にがっかりさせることもできます。私たち政治家の期末手当が200万、300万でも足りないんだと見られてしまうというのは市民はがっかりするでしょう。偽善だ、痩せ我慢だと言われてもいいじゃないですか。



福田



市長

先ほどお答えいたしました通り、国や県の特別職、本市の一般職の職員の改定状況などを勘案して検討をしてきたところでございます。人事委員会の勧告、また国におかれては人事委員、人事院の勧告を受けてのことですけれども、それらの状況も踏まえた上で、期末手当の支給割合について同等の水準とすべきであると判断をしたところでございます。

残念ながらボーナス引き上げ条例は

(特別職の職員の給与、旅費、費用弁償の額並びにその支給方法に関する条例、市長等の給与に関する条例)

自由民主党 公明党仙台市議団 立憲民主党仙台
市民フォーラム仙台 せんだい自民・参政の会
仙台維新 心豊かな社会をつくる会
自由民主党フォーラム

の賛成多数で可決。これにより・・・

市長の期末手当

約331万円から約10万円
アップ?

市議の期末手当

約207万円から約6万円
アップ?

お金が無くても政治はできます!

自分で給料を決められるからこそ政治家の期末手当は安易に増額すべきではありません。これからも自らの保身に走らず「身を切る改革」を実行して参ります。

質疑【本市大規模事業の建築費増額状況】

前回の令和6年第3回定例会で泉区役所の建築費増額が議決されており、今回の議案は市役所本庁舎の工事請負契約の増額。資材及び労務の単価の高騰等によるもので21億円以上の増額の変更契約。建設物価建築費指数のSRC造の工事費では2015年1月を100として2024年10月は約130という状況となっております。こちらに対する受け止めに伺います。



福田



財政局長

旺盛な需要背景に資材や労務費の上昇傾向は継続しており、建設費の高騰は全国的な課題となっております。
建設物価調査会における建築費指数は、価格変動を確認する1つの指針でございますが、全国的に建築費の上昇が顕著であるということを裏付けるものとなっております。

音楽ホール・中心部震災メモリアル複合施設は現在は約350億円と想定されています。当初からある程度の物価高騰を見込んだ金額というお話されておりますが、建設物価建築費指数の表を見ると23年2月からすでに11ポイントほど上がっております。

率直に聞きますが、この事業においていくらまでの建築費であれば事業を継続するつもりでしょうか。設計事務所の方にも350億円で納めていただくようお願いをさせていただきたい。



福田



文化観光局長

今後、社会経済情勢の変化を注視していくとともに、建設費が過大なものにならないよう、設計者と十分に協議をしながら進めて参りたいと存じます。
また、今後の検討に際しましては、各段階で概算の金額をその都度お知らせするなど、市民の皆様への丁寧な説明にも努めて参ります。

現市民会館を使い続けることもひとつの選択肢です。2020年11月に将来的に廃止する方針でしたが、そのときから世界情勢が大きく変わり、コロナ禍を経て我が国の少子化も驚くべきスピードで進んでおります。

東京都の日比谷公会堂は耐震性不足のために2016年から閉館しておりましたが、改修をして開館100周年となる2029年に利用を再開するとの方針が出されております。市民会館は開館50周年を迎え廃止の方針としておりますがもう少し使ってもらって新音楽ホールの開始の時期を見定めることはないのでしょうか。できるだけ次世代に借金を負わせないように今の世代の私たちが一生懸命考えて何とか様々な手を打ってあげたいと思います。



福田



文化観光局長

施設の老朽化や運営効率などの観点から、市民会館や戦災復興記念館のホール機能を更新しない方向で検討することとしておりますが、複合施設の整備に当たりましては、国費なども含めた財源の確保に努めるなど、次世代への負担を抑制するという視点を常に持ちながら、今後の検討を進めて参りたいと考えております。

大規模施設の工事費

	2022	2023	2024	2025	2026
泉区役所庁舎 (2029年度完了)		●約78億円	➡ ●約131億円 (1.67倍)		
市役所本庁舎 (2030年度完了)	●約472億円		➡ ●約553億円 (1.17倍)		
新音楽ホール 中心部メモリアル施設 複合施設 (2031年度完了)	●約237億円	●約350億円	➡ ?		

これからは人口減少を前提に都市としてダウンサイジングが迫られます。以前のようにハコモノにお金をかけて町おこしするのではなく教育など人への投資を活性化させ、少ない人口でも生産性が上がるようにしていくべきです！